

# 中小野中新聞

## 7年生だより

9月9日(土)、『突き進め 蜻蛉軍団』のスコーガンのもと、7年生にとって初めての体育祭が行われました。半日開催ではありましたが、一つ一つの競技に全力で取り組む姿、頑張る仲間を一生懸命に応援する姿が輝いた、とても充実した時間でした。なかでも『**ウルトラ** 超卯る寅級』、『**ウルトラ** スパイラル⑥7』では、トラ年・ウサギ年生生まれの7年生が一体となって「気合の儀式」で鼓舞し合い、少ない練習時間の中、担任の先生と一緒に作戦を考え工夫しながら挑んだ本番！どのクラスも練習を上回る勢いの大健闘を見せ、勝っても負けてもさわやかな気持ちにさせてくれる卯る寅級の競技となりました。この体育祭を通して学び得た「仲間との絆」や「協力することの大切さ」を忘れず、今後の生活に生かしてほしいと思います。

2学期は、10月3日に『わくわくオーケストラ』、12月に『合唱コンクール』があります。毎日の生活の中で、一人ひとりがすべきことの優先順位を明確にし、常に自分のベストを尽くしながら、それぞれ「個の力」を高めていきます。そして集団になったときに、体育祭をはるかに上回る

『**ウルトラ** 超卯る寅級』の7年生

の姿を見せてくれることを期待しています。



## 8年生だより

夏休みが終わり、新学期がスタートしました。今年の夏休みはどのように過ごしましたか。8年生にとっては、部活動で世代交代があり、新チームとして新人戦に向けて一生懸命に活動に取り組んでいます。

さて、2学期がスタートして一番の行事『体育祭』が終わりしました。最近の体育祭は、コロナの影響でいろいろな制限の中での体育祭でしたが、今年はコロナ禍前と同じような体育祭ができました。学年競技では4種メドレーリレー【それいけ！8年生】を行いました。一人ひとりの特性を生かして、クラスで話し合いながらメンバーを決め、見事に体育祭を盛りあげることができました。「一人ではできないことをクラスや仲間と協力することで乗り越えられること」を学びましたね。



また、応援合戦では9年生の先輩の後姿を見て、来年への意気込みを高めることができました。本当に楽しかったです。盛りあがった体育祭になりました。

2学期は、まだまだ、人権週間や合唱コンクールなどの行事が残されています。一つ一つの行事を成功させ、クラスの団結力を高めましょう。また、クラスだけでなく2学期末には生徒会本部役員選挙が控えています。これまでの経験を活かし、学年だけでなく、学校を引っ張っていく立場に立ちます。「だれかがやるやろう」ではなく、「自分が！」とい

う強い意志をもってリーダーとして活躍してくれることを期待しています。



## 9年生だより

今年の体育祭の応援合戦はコロナ禍以前と同じように軍団ごとに縦割り学年で行うことができた。一学期後半から計画し、夏休み時間を決められた中で準備をしてきました。2学期に入ってから応援合戦の練習では先輩たちを引っ張ること、まとめることの難しさを感じながらもクラスで協力し個性豊かな応援合戦を練り広げました。先輩たちにどう動いてほしいか一生懸命伝えていた顔、クラスの仲間の話を真剣に聞いている顔、他にも、綱引きで懸命に歯を食いしばって引く顔、閉会式後の解団式でのさわやか笑顔、9年生のいい顔をたくさん見ることができました。これからは進路に向けてどのような顔を見せてくれるのか楽しみにしています。



一学期から家庭での新研究と学校での朝学習プリントを進めてきました。2学期からはスタート時刻が8時になりプリントも2枚に増えています。「心が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる。」

右の言葉は世界各地で細部は少し変わるものもありますが言い伝えられている言葉です。この言葉はやはり心が変われば行動が変わるという部分が重要だと考えます。まずは下校後、朝学習のため新研究を進める。その行動が定着したとき心も変わってきます。逆説的になりますが、心の先の行動目標を続けること(ここでは朝学習のための新研究・7時50分教室入室完了すること)で「根気」が生まれ、行動が習慣になったときには心は進路に向けて「本気」に変わっている。根気が本気になり、その本気で取り組む行動が花を咲かせた。そんな9年生のこれまでをたくさん見てきました。あなたも根気から本気を生み出す力を持っています。朝学習前日の帰宅後はまず、「新研究」。行動を決めて取り組んでいきましょう。

# 小野市立小野中学校

校長 駒田 茂

## ○2学期始業式より

長かった夏休みも終わり、2学期がスタートしました。今年の夏は過去125年間で最も暑い夏だったようですが、熱中症で救急搬送されたり、大きな事件・事故等もなく、2学期を迎えられたことを大変うれしく思います。

さて、私は夏休みに児童精神科のお医者さんの講演会を聞く機会がありましたので、その内容を紹介します。現在、社会との関わりを断って家に引きこもっている人は、全国で146万人といわれています。そんな中、「将来、社会と関わり続けられる大人になるためには、どのような体験が必要か」というお話がありました。大きく3つの体験の積み重ねが必要ということでした。



- ① 家族以外の人と一緒にいるのって「楽しいなあ」という体験。例えば学校で友達と一緒にいると楽しいと感じられるかどうか。
- ② 「自分にもできる」と思える体験。
- ③ 周りの人たちが自分を「認めてくれてる」と思える体験。

このような体験を積み重ねていくと、社会が安心できる場所であるという感覚や、自分が社会の中でやっていけるという思いが育ってきます。

逆に、からかわれたり、いじめられたりして、解決できないまま、ただ我慢する体験、うまくいかないことばかりで、「自分にはなにもできない」と思ってしまう体験、そして、誰も自分を



「認めてくれない」と思ってしまう体験を重ねていくと、社会が怖くて、自分はその中でやっていくことができないうという考えが強くなっていきます。

そこでみなさんをお願いしたいのが、日々生活している中で、「あの子すごいな」とか「頑張ってるな」とか「感謝」を感じる場面はたくさんあると思います。その時、心の中で思うだけではなく、声に出してどんどん伝えてあげてください。声にすることで、「自分にもできる」とか「認められている」を実感でき、それが次に向かうエネルギーになっていきます。特に2学期には体育祭、人権フェスティバル、合唱コンクールなどの大きな行事があります。お互いを認め合う声かけで、次への活力がわきあがり、行事がよりよいものになっていきます。

2学期は、感謝の気持ち、友達の頑張りを積極的に声に出して伝えるということを頑張ってください。そうすることで、学校がとても居心地のいい場所になっていきます。みんなの手でそんな学校にしていきたいでしょう。



## ○第77回小野中学校体育祭

9月9日(土)にはよい天候の中で第77回体育祭が実施できました。応援団を中心として、各軍団の個性が現れた素晴らしい応援合戦、学年を追うごとに迫力が増していく学年競技、そしてお互いを応援しながら競技を盛り上げる生徒たちの姿が見られました。

保護者のみなさま、暑い中ではありましたが、生徒たちのために応援に駆けつけてくださり、ありがとうございました。

選手宣誓  
生徒会長 土井健太郎さん  
副会長 上山葉珠己さん



## 突き進め 蜻蛉軍団



## 10・11・12月の行事予定

- わくわくオーケストラ(7年生) 10月 3日
- 中間テスト 10月5日、6日
- 東播新人大会 10月14日、15日
- ハートフル弁当 10月20日
- 進路説明会(9年生) 10月24日
- 人権フェスティバル 11月2日
- 期末テスト 11月21日~24日
- 合唱コンクール 12月6日

